

## 第 6 学年 道徳学習指導案

1 主題名 見つめ直そう自分、見つめていこう未来

2 内容項目

3 資料名 「山中伸弥先生の快挙」

4 ねらい（視点）

### 視点 1 自己と向き合いながら学びを進める環境づくり

本主題は、「自分自身に関すること」についての内容項目を中心に据え、「他の人と関わること」や「社会や集団に関わること」についての内容項目を含めた構成をすることで、小学校生活が残り半年となる 6 年生の子どもが、自分の生活を改めて見つめ直し、他の人と関わりを深めながら、自分や学級・学年をよりよいものにしていこうと意識を高めていくことを意図した。

第 1 次では、何気なく使っている「ありがとう。」の言葉の大切さを考える。考えていく中で、自分が地域の人や友達に支えられていることに気付いていく。こうした気付きが他者を大切にしようという気持ちを高め、自分の行動を見つめ直すことにつながっていく。また第 2 時では、「寛容・謙虚」についての価値追求を通して、改めて自分自身を見つめ直す機会に触れる。ピエロがサムを責めなかった理由を考えることで、相手の気持ちを推し量ることの大切さと、自分の思いがどのように他者に伝わっているのか見つめ直す。第 3 時では藤野先生の生き方から、誰に対しても公正に接することのよさを考え、こうした関わりが自分の存在価値を高めることに気付いていく。

本主題構成は、総合的な学習の時間「キッズニア幌南」の職業体験学習や、国語「今、私は、ぼくは」の卒業文集づくりとも深く関連している。このような教科と道徳の時間を関連させる学習を通し、一人一人の子どもが、自分の現在の姿を考えると共に、よりよい生き方について考え、道徳性を高めていくことができる。

### 視点 2 学びをつなぐ力の評価

|        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| 持ち出す力  | これまでの生活経験や自分の価値理解を基に、資料の内容に共感して考える。  |
| 運用させる力 | 自分と他者の価値判断から、自分の価値理解を確かにしたり、見直したりする。 |
| 継続させる力 | これからの生活に期待感を高め、よりよい生活について意識を高める。     |

本時では、未来がどうなるかはわからなくても、現在の状況や場に満足することなく、新しいものを求める大切さや、それに向かって行動することの必要性を捉えていく姿を、子どもの学びをつなぐ力として評価する。そのために、主人公の行動に至った理由を考える場では、「自分だったら・・・」と自分に重ねて考えられるようにする。そして、新しいものを求めることの価値に気付くだけでなく、自分の生活にも生かしていきたいと期待を高める姿を評価することで、小学校生活の残りの半年についてよりよい生活を送ろうと意識を高めることができる。

### 主題設定の理由

この時期の児童は、後期の生活が始まり 1 か月ほど経ち、係活動や学級、委員会など自分の活動が軌道に乗り始めていると感じている。そうした中で、小学校卒業までの残りの半年をどのように過ごしたいのか期待を膨らませている。また、卒業までに、自分が何をすべきなのか、どのような姿で卒業を迎えたいのか考え出す時期である。

そこで主題のねらいを「見つめ直そう自分、見つめていこう未来」と設定し、一人一人が自分の行動や考え方を振り返ると共に、集団生活の中で自分が何をし、どのように貢献していきたいのか思いを高めることを大切にしたい。

本主題の後には、総合的な学習の時間「キッズニア幌南」のまとめの学習、卒業文集の執筆などが予定されている、こうした学習の中でも、自分を見つめ直す機会が増える。道徳の時間が「自己」と「他者」をつなげながら、本主題で高めた道徳性をもとに、生活をよりよいものにしていけるようにしたい。

| 時 | 主な学習内容・活動  | 評価・留意点  |
|---|--|---|
|   | <div data-bbox="379 208 734 383"> <p><b>山中伸弥先生</b><br/><b>iPS細胞の開発</b><br/><b>2012年 ノーベル医学・生理学賞受賞</b></p> </div> <div data-bbox="742 219 1428 383" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>&lt;前時まで&gt;<br/>子どもは、全校道徳を通して、他者との関係性を捉え直している。また、2時間目や3時間目は、登場人物の行動について考え、「謙虚さ」「公正さ」など自分自身が何を大切にすべきなのか考えている。</p> </div> <div data-bbox="391 398 1002 443" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ノーベル賞をもらう人はどのような人なのかな。</p> </div> <div data-bbox="231 495 534 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>頭のいい人だと思うよ。</p> </div> <div data-bbox="550 495 742 562" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○資料を読み、内容を理解する。</p> </div> <div data-bbox="758 488 1007 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>山中先生の挫折</b></p> </div> <div data-bbox="758 533 1007 622" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>10分で終わる手術が1時間以上。「ジャマナカ」</p> </div> <div data-bbox="231 548 502 586" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>何かに優れた人かな。</p> </div> <div data-bbox="438 622 774 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>山中先生には、マイナスに感じられる点が多い</p> </div> <div data-bbox="231 683 1007 719" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>山中伸弥先生がノーベル賞を取ることができた理由を探ろう。</p> </div> <div data-bbox="231 734 550 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>これまで誰も開発したことのないことだから。ワークハードできたから。ビジョンがあったから。</p> </div> <div data-bbox="502 741 646 801" style="font-size: 2em; font-weight: bold;">自分</div> <div data-bbox="678 741 1007 891" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ビジョンとワークハードの教えがあったから。協力する仲間がいたから。夢を支えてくれたから。</p> </div> <div data-bbox="614 840 726 891" style="font-size: 2em; font-weight: bold;">仲間</div> <div data-bbox="295 913 933 965" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>「いただいた賞状やメダルは、もう見ることはないと思います。」</b></p> </div> <div data-bbox="231 981 1007 1055" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>山中伸弥先生は、なぜメダルを「もう見ることはない。」と言ったのだろう。</p> </div> <div data-bbox="231 1086 454 1167" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>これで喜んでいいとはいけない。</p> </div> <div data-bbox="470 1086 646 1167" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>研究はまだまだ続く。</p> </div> <div data-bbox="774 1086 997 1167" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>目標は iPS 細胞が役に立つこと。</p> </div> <div data-bbox="231 1205 662 1256" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>よりよい新しいものを求めている。</p> </div> <div data-bbox="678 1205 1007 1256" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>目標に向かって努力が必要</p> </div> <div data-bbox="215 1301 263 1406" style="font-size: 2em; font-weight: bold;">未来</div> <div data-bbox="279 1301 598 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>研究には未来がある。メダルが目標ではない。先に進むことが大切。</p> </div> <div data-bbox="646 1301 965 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>一つの成果として大切。もう過去の出来事。努力の形がメダル。</p> </div> <div data-bbox="965 1301 1013 1406" style="font-size: 2em; font-weight: bold;">過去</div> <div data-bbox="231 1458 1007 1541" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>山中先生は、ノーベル賞を取ったことに満足せず、これまでにない新しい成果を求めて、今でも研究を続けているね。</p> </div> <div data-bbox="303 1556 957 1601" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分にとってのビジョンとは何だろう。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに山中伸弥について紹介し、iPS細胞について説明する。</li> <li>・なぜ受賞できたのかという疑問を生むために、子どものノーベル賞受賞者に対するイメージを引き出し、山中先生の挫折体験と比較できるようにする。</li> <li>・「進取」の価値に迫るために、山中先生の受賞後の言葉を提示する。</li> <li>・自分の考えを整理するために、ワークシートに記入する時間をとる。</li> <li>・「進取」の価値に迫るために、iPS細胞はまだ研究中であることを読み取れるようにする。</li> </ul> |